

平成 23 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	ナノメディシン分子科学
領域代表者	石原 一彦（東京大学・大学院工学系研究科・教授）
研究期間	平成 23 年度～平成 27 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>本研究領域は、生体を構成し、生命活動を司る細胞内での化学反応や物質の移動の理解から、組織や生体における特定物質の移動プロセスを解明することを主たる目的としており、重要な概念を含む研究提案である。また分子科学に基づいて疾病の原因を解明し、治療法を提案するという理学・工学・医学の融合領域の創成を目指しており、研究の意義は高い。医学と工学の連携研究では応用的なものが多い中、本研究領域は細胞を中心とした生体反応系の基礎的な面に焦点を当てた学理的研究であり、新学術領域にふさわしい。第一線で活躍するポテンシャルの高い研究者からなる研究組織には着実に大きな成果が期待できるとともに、若手研究者の育成に対する配慮も感じられる。</p>